

令和7年度 集団指導

◎特定教育・保育施設◎

〈保育内容編〉

練馬区福祉部指導検査担当課保育サービス検査係



食事中の事故防止について

日々提供される食事について、食事内容や
食事環境に十分配慮し、安全で楽しい食事になる
ようにしましょう。



気をつけるポイント

食事中の事故防止

- ◎ 特に0歳児については、個々の段階に応じた配慮をするとともに、子どもが初めて食べる食材については、家庭で安全に食べられることを確認してから、保育所での提供を開始しましょう。
- ◎ 0歳児の授乳は抱いて飲ませ、飲み終わったら必ずげっぷをさせましょう。
- ◎ 子どもの年齢、月齢に合わせた食材の大きさ、硬さに配慮しましょう。

食事の介助をする際に注意すべきポイント1

- ①ゆっくり、落ち着いて食べることができるよう、子どもの意思にあったタイミングで介助しましょう。
- ②子どもの口に合った量で食べさせましょう。
(一回で多くの量を詰めすぎない)
- ③食べ物を飲み込んだことを確認しましょう。
(口の中に残っていないか注意しましょう。)
- ④汁物などの水分を適切に飲ませましょう。

参考・「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン
～施設・事業者向け～

食事の介助をする際に注意すべきポイント2

- ⑤食事の提供中に驚かせないようにしましょう。
- ⑥食事中に眠くなっていないか注意しましょう。
- ⑦正しく座っているか注意しましょう。

参考・「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン
～施設・事業者向け～

誤嚥・窒息につながりやすい食べ物の調理について

食品の形態、特性	食材	備考
球形という形状が危険な食材 (吸い込みにより気道を ふさぐことがあるので危険)	<ul style="list-style-type: none">・ プチトマト・ 乾いたナッツ、豆類 (節分の鬼打ち豆)・ うずらの卵・ あめ類、ラムネ・ 球形の個装チーズ・ ぶどう、さくらんぼ	<ul style="list-style-type: none">・ プチトマトは、四等分すれば提供可能であるが、保育所では、提供を控えたほうが良いとされています。・ ぶどう、さくらんぼは、球形というだけでなく皮も口に残るので危険です。
粘着性が高い食材 (含まれるでんぷん)	<ul style="list-style-type: none">・ 餅	

果物について

食品の形態、特性	食材	備考
咀嚼により細かくなつたとしても食塊の固さ、切り方によってはつまりやすい食材	<ul style="list-style-type: none">・りんご・梨・柿	<p>完了期までは 加熱して提供する</p> <p>完了期までは 加熱して提供する</p> <p>完了期までは りんごで代用する</p>

活動中の事故防止について

プール活動・水遊び、園外保育の時に気を付けたい
ポイントです。

子どもたちが大好きな活動を安全にできるように
しましょう。



プール活動・水遊びの事故防止

- ◎ プール指導を行う職員とは別に水の外で監視に専念する監視者を配置しましょう。
- ◎ 監視者は、始める前は子どもより先にプールサイドへ行き、終える際は最後の子どもが退水したことを確認しましょう。
- ◎ プール活動の記録を作成しましょう。

園外保育時の際の
確認事項

園外保育時の事故予防 1

①園外保育時に、複数の職員が対応していますか、監視役の職員を必ず配置しましょう。

②散歩の経路などについて、危険個所の確認を行いましょう。

③園外保育時の迷子・置き去り防止策を行いましょう。

④園外保育の記録を作成しましょう。

園外保育時の事故予防2

＜園外保育の記録の項目＞

- ・日付
- ・行き先
- ・子どもの人数
- ・引率の職員名
- ・出発時間
- ・帰園予定時間
- ・実際の帰園時間
- ・全員帰園したことの確認
- ・途中確認

＜帰園の報告＞

帰園後、散歩計画に実際の
帰園時刻等を記入し、
園長等に散歩から帰った
旨を共有する。

睡眠中の事故防止について

たっぷり遊んで、食事をして、ぐっすり眠って成長してほしい。

これは、皆さま誰もが思うことです。
安全に気持ち良く眠る環境をつくっていきましょう。



確認事項

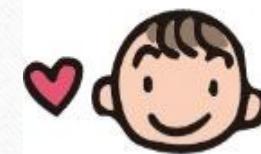
SIDS（乳幼児突然死症候群）の予防

- ・仰向け寝を徹底しましょう。
- ・午睡時のチェックは子どもの呼吸・体位・睡眠状況についてきめ細やかに行い、その都度記録しましょう。
- ・0歳児は5分に1回、1～2歳児は、10分に1回のチェックをしましょう。
- ・預かり始めの時期や体調不良の時は、特に注意して見守りをしましょう。

SIDS（乳幼児突然死症候群）および睡眠中の事故予防策

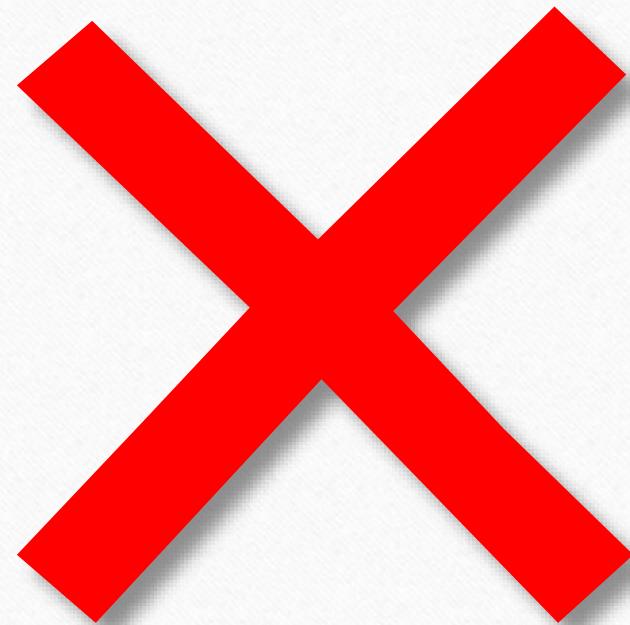
- ★ 照明は、睡眠時の乳幼児の顔色が観察できるくらいの明るさを保ちましょう。
- ★ 乳幼児のそばを離れないようにしましょう。
(機器の使用に関わらず、必ず職員が見守りましょう。)
- ★ 保育室内の禁煙を徹底しましょう。
- ★ 厚着をさせすぎない、暖房を効かせすぎないようにしましょう
- ★ 保護者と緊密なコミュニケーションを取りましょう

クイズタイム



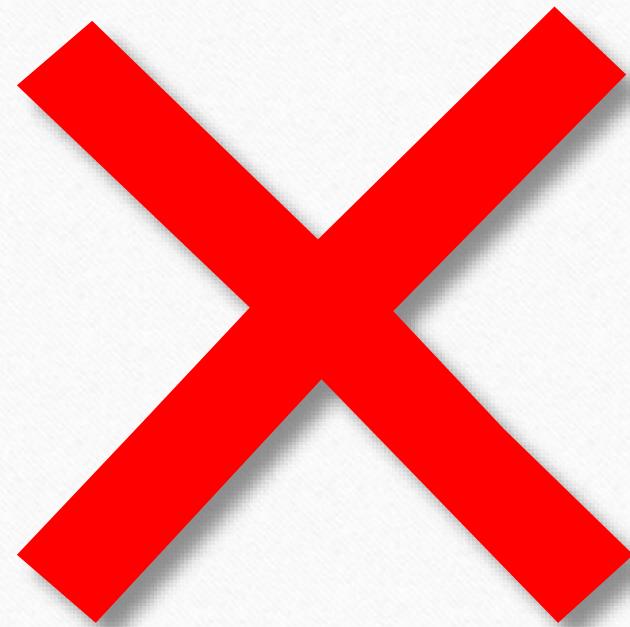
第1問

リンゴや梨は、薄くスライスすれば、
離乳食の時でも提供して良い。



第2問

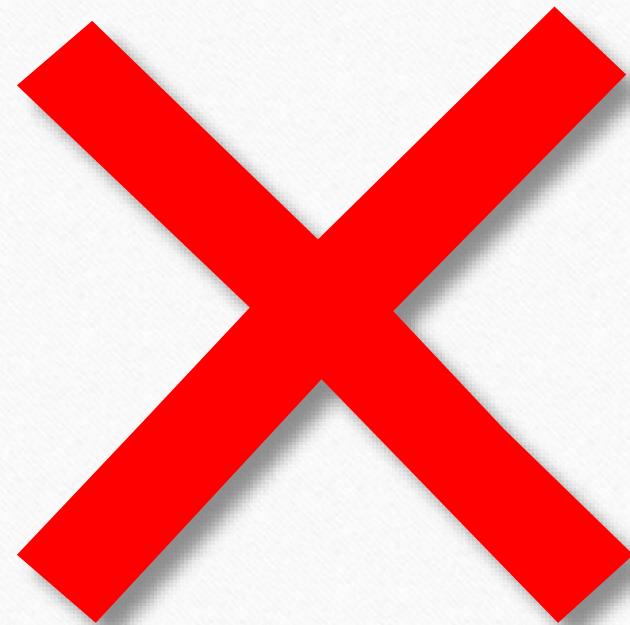
午睡中の体位は、うつ伏せ寝ではなく、
横向きならば良い。



第3問



プール活動や水遊びの時は、
複数の保育士が対応していれば、良い。



これからも安全安心な保育のために・・・

ご清聴ありがとうございました

Logoフォームの
入力・送信をもって
終了です！
忘れずに～！！



受講報告兼アンケートについて

今年度は、Logoフォームでのご回答となります。
実施通知のQRコードを読み込んでご回答ください。

提出〆切：令和8年3月31日(火) 必着